

命を守るために 献血にご協力を!

日々、病気やけがなどで輸血を必要としている多くの患者さんがいます。ただ、献血によって集まった血液は、採血後4週間しか使うことができません。必要な患者さんにいきわたる量を保つために、常に多くの人の献血協力が必要です。

尊い命を守るため、ご協力をお願いします。



とき

ところ

3月26日(火)

伯耆町農村環境改善センター 9:30~11:30
大山リハビリテーション病院 12:15~13:15
岸本保健福祉センター 15:00~16:00

対象者

体重50kg以上、69歳までの人

※65歳以上の人は、60~64歳の間に献血経験がある場合に限りです。

※当日受付で医師が総合的に判断し献血をご遠慮いただく場合があります。

その他(薬の服用)

当日服用していても献血できる薬

血圧・高脂血症(コレステロール)・アレルギーの薬・尿酸値を下げる薬・漢方薬・一般的な胃腸薬・ビタミン剤やミネラルなどのサプリメント

前日までの服用なら献血できる薬

頭痛薬・市販薬の風邪薬

鳥取県赤十字
血液センター
ホームページ▶



問い合わせ先

健康対策課 健康増進室

☎ 0859-68-5536

高齢者肺炎球菌の予防接種

肺炎球菌は、日本人が日常でかかる肺炎の中で一番多い原因菌といわれています。予防接種をすることで肺炎球菌による肺炎を予防し重症化を防ぐことができますので、積極的な接種をお願いします。

対象者には昨年(令和5年)3月に受診券を送付していますので、ご確認ください。

◆令和6年3月末までに接種してください

期限内に接種すると接種費用の助成があり、自己負担金3,000円で接種できます。

※期限を過ぎた場合の接種費用は全額自己負担(約8,000円)になりますので、ご注意ください。

※今までに肺炎球菌ワクチンを1度でも接種したことのある人は、受診券での接種は対象外です。

令和5年度対象者

①令和5年度中に、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人

②60~64歳で心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障がいや有する人、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する人

※次年度(令和6年度)から対象者が満65歳の人のみとなります。

受診券・予診票をなくした人、その他ご不明な点は健康対策課までお問い合わせください。

問い合わせ先

健康対策課 健康増進室

☎ 0859-68-5536